



第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(1)

■1 総合戦略の位置づけ

(1) 国・県の総合戦略等との関係

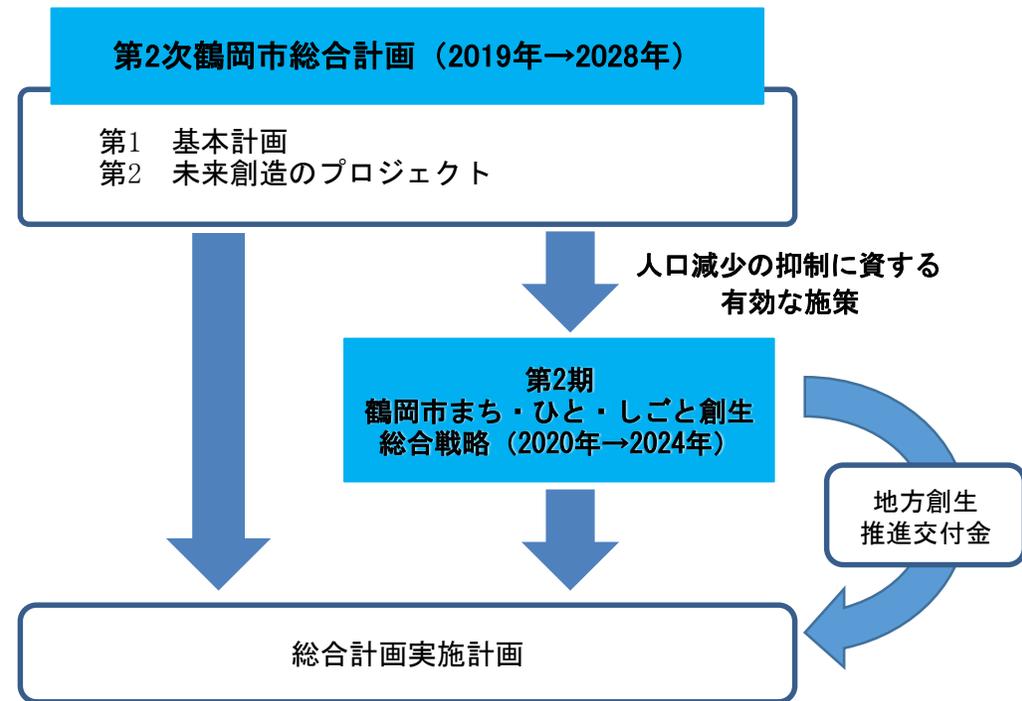
本市では、**まち・ひと・しごと創生法の趣旨を踏まえ、国や県が策定したまち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案し、**喫緊の課題である人口減少問題に対処するため、今般、第1期の計画期間が満了を迎え、国から新たな戦略と地方創生の指針が示されたことから、これまで行ってきた施策を検証しつつ、**国や県の総合戦略との整合性を図りながら、前期総合戦略の終了から切れ目なく、今後5年間の目標や施策の方向性等を示した第2期の総合戦略を策定**することとします。

【参考】まち・ひと・しごと創生法（平成26年9月制定）

出生率の低下によって引き起こされる人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保し、将来にわたって活力ある社会を維持することを目的とするもの。

(2) 鶴岡市総合計画との関係

総合戦略は国の総合戦略を勘案し、**第2次鶴岡市総合計画基本計画をベースに、人口減少の抑制に資する有効な施策から構成**します。**具体的な施策の実施は総合計画実施計画に位置付け**ます。また、国の地方創生推進交付金などを活用し、総合計画実施計画の事業を推進します。





第2期鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略について(2)

■2 総合戦略の計画期間

総合戦略の計画期間は、**2020年(令和2年)度から2024年(令和6年)度まで**の5年間とします。

■3 総合戦略の策定体制

○鶴岡市人口減少対策総合戦略会議（内部会議）

人口ビジョン及び総合戦略を策定するための庁内体制として、関係課が連携して協議し提案します。

○鶴岡市総合戦略策定推進会議（外部会議）

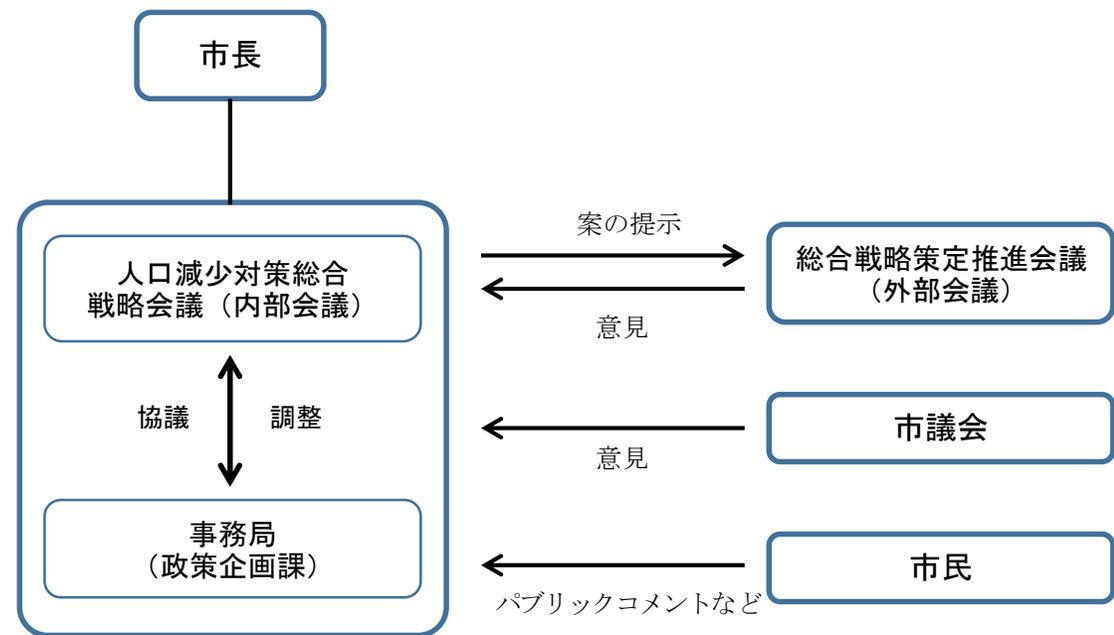
産・官・学・金・労・言・土の各分野の有識者で構成され、総合戦略の策定や施策の推進及び効果検証に関する意見をいただきます。

○市議会

市議会からも総合戦略の策定や施策の推進及び効果検証について意見をいただきます。

○市民意見

パブリックコメントのほか、ホームページ上で市民意見を聴取する機会を設けます。





総合戦略の評価検証について

■4 総合戦略の周知と巻き込み

総合戦略は、市役所の取組みだけでは成し遂げられないことが多くあります。具体的な施策の推進にあたっては、企業、経済団体、コミュニティ組織など様々な市民を巻き込みながら進めていくことが必要です。

このため、ホームページでの周知に加え、市長と語る会や各組織体の会合など多様な機会を捉えた積極的な周知を行い、広く理解と協力を得ながら施策を推進してまいります。

■5 PDCAサイクルによる進行管理

総合戦略の着実な実施に向け、PDCAサイクルにより進行管理を行います。

取組を推進するにあたり、基本目標ごとに取組期間終了までの**数値目標を掲げる**とともに、具体的な施策について各施策の効果を客観的に検証できる**重要業績評価指標（KPI：Key Performance Indicators）を設定**します。

KPIの進捗状況は、施策や事業の効果を検証し、鶴岡市総合戦略策定推進会議（外部会議）や市議会に取組状況とあわせて報告・協議をし、必要に応じて戦略の見直しを行うなど、より効果的な総合戦略の推進につなげていくこととします。

また、横断的目標については、基本目標の各施策を横断するため、数値目標は別に定め、各施策のKPIは基本目標と同じものとします。



計画の体系と数値目標

数値目標

基本目標 1

安心して働いていくためのしごとをつくり、担い手を育てる

- 1 付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりの促進
- 2 農林水産業の成長産業化の推進
- 3 いきいきと働くことができる環境づくり
- 4 ふるさと鶴岡を愛する教育の推進

新規雇用創出数の累計
1,600人 (R2年度～R6年度)

25～44歳の女性の就業率
83.3% (H27年) → 85.3% (R6年)

基本目標 2

ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす

- 1 移住・定住・地元回帰の促進
- 2 関係人口・交流人口の拡大

転入者数と転出者数の差
▲394人 (H30年度) → ▲200人 (R6年度)

ふるさと寄附金の寄附件数
25,596件 (H30年度) → 71,000件 (R6年度)

基本目標 3

結婚・出産の希望を持つひと、子育てするひとを全力で応援する

- 1 結婚支援の推進
- 2 妊娠・出産・子育ての支援
- 3 男女共同参画の気運醸成

合計特殊出生率（出生数）
1.49 (749人) (H30年) → 1.71 (800人) (R6年)

子育て環境や支援への満足度
27.6% (R元年度) → 42.0% (R6年度)

基本目標 4

地域の支え合いを通じて、まちの安全を守り、活気を生み出す

- 1 まちの賑わい創出と支え合うコミュニティの形成
- 2 安全・安心な暮らしを守る

中心市街地イベントの人出数累計
483,500人 (R2年度～R6年度)

地域活動事業参加者の割合
83.3% (H30年度) → 89.4% (R6年度)

総合防災訓練参加者の累計
5,200人 (R2年度～R6年度)

横断的な目標 1

多様な人材の活躍を推進する

横断的な目標 2

新しい時代の流れを力にする



数値目標の変更について

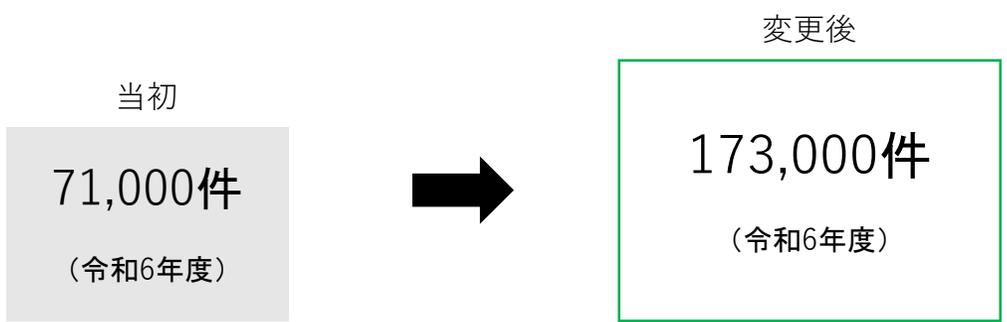
進捗度合いや前提条件の変化等、現状の目標水準を見直すべき明らかな要因が生じた数値目標（2つ）について、以下のとおり変更する。

基本目標2 ふるさと寄附金の寄附件数

令和2年度の実績（寄附金の伸び）による目標の上方修正。

※R2実績：80,427件

| | 基準値 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6目標 | |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|---------|-----|
| 目標 | 25,596 | 50,000 | 57,000 | 64,000 | 71,000 | 71,000超 | (件) |
| 実績 | - | 80,427 | | | | | (件) |



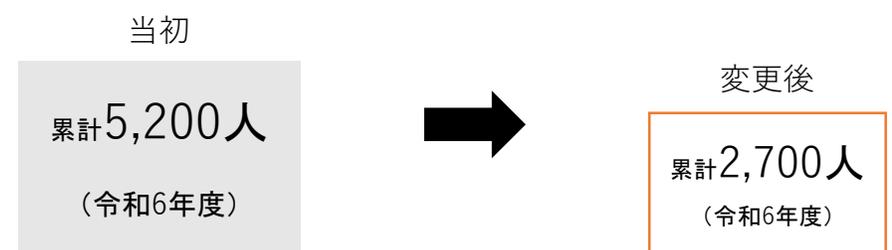
基本目標4 総合防災訓練参加者の累計

目標値設定時に大きな割合を占めていた、山形県との合同訓練が中止されたことに伴う見直し。

R2（田川地区）
コロナ対策として当初の訓練項目、参加者、参観者、見学者を縮小し実施。

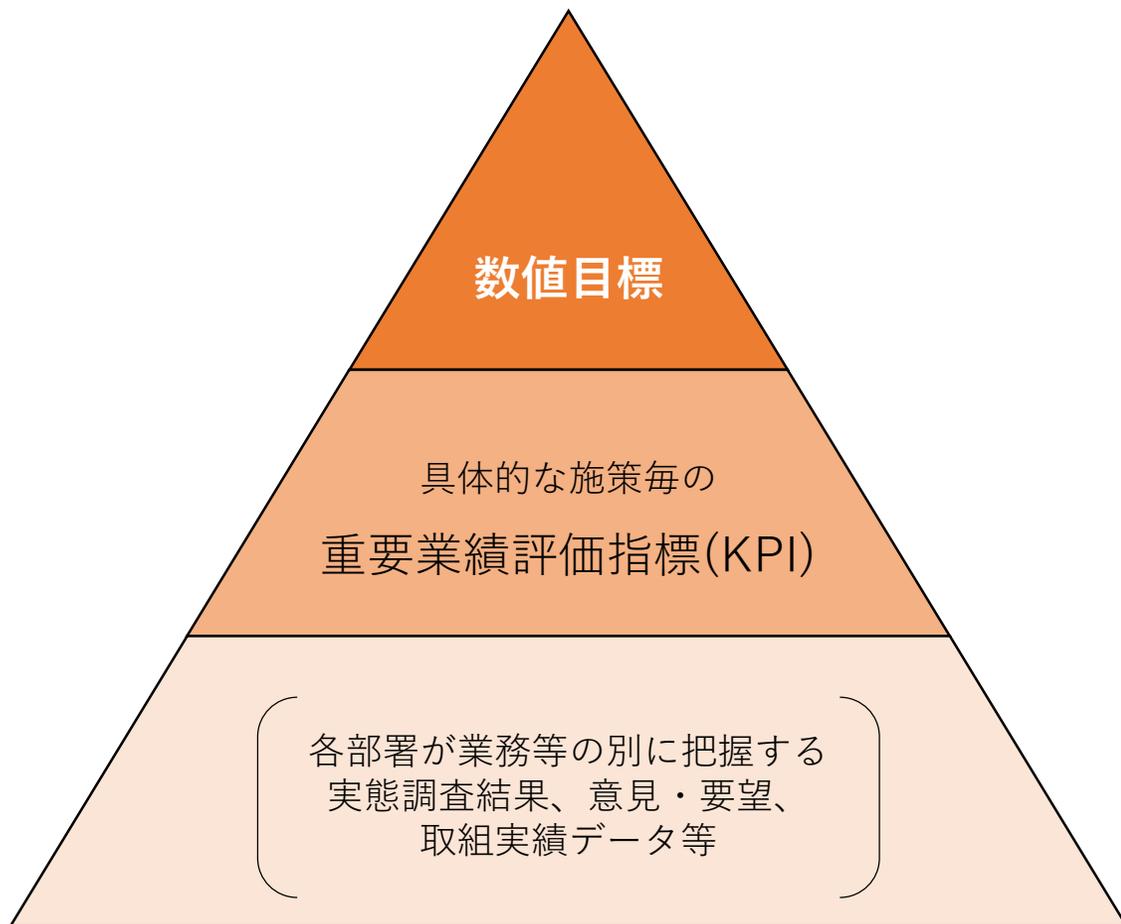
R3（由良地区）
県との合同総合防災訓練。8/12、県の注意警戒レベルがレベル4（警戒）に引き上げられたことで訓練中止要領の基準に該当し、中止決定。

| | 基準値 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | 累計 | |
|----|-----|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|
| 目標 | - | 800 | 2,000 | 800 | 800 | 800 | 5,200 | (人) |
| 実績 | - | 322 | 0 | | | | 322 | (人) |





(参考) 数値目標の位置付け



総合戦略における独自の目標

- • • 人口減少対策の視点による本総合戦略の全体目標として位置付け

総合計画と共通する目標

- • • 第2次総合計画において各施策の成果指標として設定

他の個別計画や業務遂行で管理する目標等

- • • 各施策分野・部署毎に、個別の計画を策定する際や、業務遂行・管理のため多様な意見や情報等を収集し活用